

「コウノトリKODOMOかいぎ」を開催

全国のコウノトリの繁殖地、飛来地の小学生がオンライン上で集う交流事業「コウノトリKODOMOかいぎ」を開催する。子どもたちが、それぞれの地域を見つめ直し、環境活動を深めるきっかけとなることを目指す。

1 主催等

(1) 主催

豊岡市

(2) 運営補助

ラムサールセンター※

※ 水鳥と湿地の保護に関する国際条約「ラムサール条約」と、その基本理念「保全」「賢明な利用(Wise Use)」の実現を目標に、とくに湿地と人間とのかかわりについて、調査研究、普及啓発活動を行っているNGO。1990年に設立。事務局は東京都目黒区。

2 日時

2021年3月28日(日) 午前9時～正午

3 参加者

全国のコウノトリの繁殖地、飛来地の小学4～6年の児童。各地域から計44人が参加(予定)。

《参加予定地域》

栃木県小山市、千葉県野田市、福井県越前市、島根県雲南市、豊岡市 ……計5地域

4 場所(メイン会場)

市役所本庁舎3階 庁議室

※ オンライン会議システム(Zoom)を使用して、参加地域の会場とつなぐ。

5 会議の概要

ラムサールセンターが取り組む環境教育プログラム「KODOMOラムサール※」をアレンジしオンラインで実施する。豊岡が取り組んでいるコウノトリ野生復帰について、何が大切なのかを子どもたちが発見し、子どもたち自らが、それぞれの地域を見つめ直し、環境活動を深めるきっかけとする。

※ KODOMOラムサールとは、ラムサール条約に登録された湿地を舞台に、全国の湿地で活動する子どもたちが開催地の湿地の魅力について学び、考え、さらにそれぞれの地域での行動を深めていくことを目指した環境教育プログラム。

(1) 豊岡からの報告

市内各所を中継でつなぎ、コウノトリ野生復帰に関わっている人たちから、その取組内容について説明を受ける。

ア 取組みのテーマ

歴史、農業、自然再生等

イ 中継場所（予定）

ハチゴロウの戸島湿地、コウノトリ文化館、水田ビオトープ・人工巣塔など(場所は未定)

(2) ワークショップ

豊岡のコウノトリ野生復帰の取組みを元に、地域ごとに子どもたちが「コウノトリと共に生きるための宝」を検討する。

(3) まとめ

それぞれの地域で選出した「宝」の発表、意見交換を行う。自分たちに出来ることが何かを考える。

《ファシリテーター》

中村大輔氏（ラムサールセンター副会長／滋賀県草津市立渋川小学校教諭）

6 その他

2021年10月末に開催予定の「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」関連事業に位置付けている。今回参加した子どもたちには、国際かいぎへの参加を案内し、「コウノトリKODOMOかいぎ」の成果報告、その後の活動について発表してもらう予定である。

〔問合せ〕 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017